



報道関係者各位

2023年7月24日
山口県下松市
株式会社マーケットエンタープライズ

山口県では初めて 下松市が「おいくら」で 不要品リユース事業をスタート

～リユース施策初導入で廃棄物削減へ～

山口県下松市(市長:国井 益雄)と株式会社マーケットエンタープライズ(東京都中央区、代表取締役社長:小林 泰士、東証プライム・証券コード 3135、以下「マーケットエンタープライズ」)は、2023年7月24日(月)より、地域社会における課題解決を目的としたリユース事業に関する協定を締結し、連携をスタートいたします。マーケットエンタープライズが運営するリユースプラットフォーム「おいくら」を用いて、不要品を捨てずに再利用する仕組みを構築し、下松市の廃棄物削減と循環型社会の形成を目指します。



■背景・経緯

下松市では、これまで廃品回収の報奨金実施や市民への広報活動などを通じて、ごみ減量化の啓発に努めてきましたが、リユースに関してはこれまで取組事例がなく、新施策の導入が必要であると考えていました。他方、マーケットエンタープライズは、リユース事業を中心に事業展開しており、「持続可能な社会を実現する最適化商社」をビジョンに掲げ、「地方創生 SDGs 官民連携プラットフォーム」への参画や、「楽器寄附ふるさと納税」実行委員会の一員として活動进行するなど、官民の垣根を超えた SDGs への取組に注力してまいりました。そうした中で下松市が働きかけ、「リユース活動促進による循環型社会の形成を目指したい」という互いのニーズが合致したため、「おいくら」※1を用いた今回の取組が実現しました。

※1「おいくら」とは

おいくらは、マーケットエンタープライズが展開する、リユースプラットフォームです。不要品を売りたい方が「おいくら」を通して査定依頼をすると、全国の加盟リサイクルショップに一括査定依頼され、買取価格を比較することができます。一度の依頼だけで不要品の買取価格をまとめて比較し、売却できる手軽さが好評で、これまでおよそ 110 万人(2022 年 11 月現在)の方にご利用いただいております。

ウェブサイト:<https://oikura.jp/>

■下松市の課題と「おいくら」による解決策

下松市では、市による「大型不燃ごみ」ならびに「大型可燃ごみ」の回収を月に 1 度ずつ無料で行なっています。しかし、回収のためには、市民が不要品を自宅近く決められたごみステーションまで運搬しなければならず、市民からは、「大型の不要品を運び出すのが大変」、「ごみステーションの敷地が狭くて大型ごみを出すのが難しい」などの声が寄せられていました。また、「大型可燃ごみ」に該当する木製家具を廃棄する際は、ガラスや金属部品を取り外し、1メートル以下に解体や切断をしなくてはならず、それができない場合には、市民が焼却場へ運搬するか民間業者へ廃棄依頼をする必要があります。「おいくら」は、希望すれば、自宅の中まで訪問し対応する出張買取が可能で、木製家具などの大型で重量のあるものでも、売却が容易にできるようになります。加えて、不要品売却と受け渡しは、最短だと「おいくら」を通じて買取依頼をした当日に可能となります。さらに下松市が回収を行っていないテレビや冷蔵庫、洗濯機などの家電リサイクル法対象の製品も、まだ活用できるものであれば、売却が可能です。なお、市民の「おいくら」サービス利用に関する費用負担はもちろん、下松市の費用負担もありません。

■今後について

7 月 24 日(月)15 時(公開時間が前後する可能性があります)より、下松市ホームページ内(<https://www.city.kudamatsu.lg.jp/kankyuu/oikurarenkei.html>)に「おいくら」の情報が掲載され、直接不要品の一括査定申し込みが可能になります。下松市と「おいくら」の連携により、二次流通の更なる活性化による循環型社会の実現や、社会全体での不要品削減が見込まれると共に、自治体の廃棄物処理量や処理コスト削減にもつながります。また、昨今では、働き方や住環境の見直しなどにより、不要品処分のニーズが多様化しております。本取組によって、簡単にかつ廃棄ではなく売却という形で不要品のリユースができることを市民が認知することにより、「リユースする」という選択肢が増え、多様化する不要品処分ニーズに応えることができます。加えて、市民の不要品処分やリユースに対する意識の変化、循環型社会形成の促進につながります。この官民一体の取組によって、循環型社会の形成に向けた、社会的側面・経済的側面の双方の課題解決を目指してまいります。

■山口県下松市

山口県の南東に位置し、瀬戸内海に面しています。東は光市、北と西は周南市に境を接しています。大正時代から工業都市として発展し、鉄道、船舶関連からハイテク機器関連まで、幅広い製造業が盛んな「ものづくりのまち」として、その高い技術力と情熱を世界へと発信しています。近年では、西日本有数の形象埴輪群が良好な状態で出土し、大きな注目を集めています。

人口:56,893 人(男 28,021 人、女 28,872 人)(2023 年 6 月末日現在)

世帯数:26,824 世帯(2023 年 6 月末日現在)

面積:89.34 平方キロメートル

ウェブサイト:<https://www.city.kudamatsu.lg.jp/>

■株式会社マーケットエンタープライズ

マーケットエンタープライズは、ネット型リユース事業を中心に、メディア事業、モバイル通信事業などを展開し、「持続可能な社会を実現する最適化商社」をビジョンに掲げ、2006年の設立以来、成長を続けています。2015年6月には東証マザーズに上場。2021年2月に東証一部へ市場変更の後、2022年4月にはプライム市場へ上場しております。ネット型リユース事業では、「高く売れるドットコム」のほか、リユースプラットフォーム「おいくら」や、80か国以上への中古農機具の輸出などで事業拡大を続けており、ネット型リユース事業のサービス利用者は延べ640万人を達成しました。下松市の「おいくら」サービス導入により、導入自治体は全国で53にのぼります。

「おいくら」自治体向けウェブサイト：<https://oikura.jp/lg/>

マーケットエンタープライズ ウェブサイト：<https://www.marketenterprise.co.jp/>

【報道関係者からのお問合せ先】

下松市に関すること

下松市 生活環境部 環境推進課

担当：渡邊

Tel:0833-45-1829 Mail：kankyou@city.kudamatsu.lg.jp

「おいくら」に関すること

株式会社マーケットエンタープライズ 広報

担当：立花、柏木

Tel:03-6675-3923 Mail：pr@marketenterprise.co.jp